4月から「上毛町地域包括支援センター」を開設します

豊築地域の１市３町では、高齢者の生活を支える拠点として豊前市内に豊築地域包括支援センターを共同設置していました。今回、利用者の利便性の向上を図り、地域の実態に即したよりキメ細やかな支援を行っていくために運営方法を改め、それぞれの市町で地域包括支援センターを設置することになりました。

上毛町では、本庁健康福祉課内に開設し、４月１日から業務を行います。

地域包括支援センターは、保健師、主任ケアマネージャーなどが中心となって、互いに連携をとりながら、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活していけるように必要な相談や支援を行う総合機関です。

■ 地域包括支援センターの主な業務　～地域包括支援センターは高齢者の身近な相談窓口です～

◎ さまざまな相談に対応します

高齢者の皆さんやその家族の介護の問題をはじめ、健康、福祉、医療や生活に関するさまざまな相談に対応し、必要なサービスなどにつなぎます。

◎ 自立した生活を支援します

要支援や要介護状態への移行を予防したり、各種サービス利用に係わるケアプランの作成やサービス利用の調整をします。

◎ 高齢者の権利を守ります

高齢者に対する虐待防止への対応や成年後見制度の活用支援などを行います。

◎ 暮らしやすい地域づくりを総合的に支援します

高齢者を支える地域のケアマネージャーの指導や関係機関とのネットワーク作りのほか、地域の学習会やボランティア活動への支援など、高齢者をはじめ地域の方々が、住み慣れた環境で暮らし続けるためのお手伝いをします。

●問い合わせ先
健康福祉課 TEL 72-3111（内線162）

介護支援専門員（嘱託職員）募集のご案内

■仕事内容	地域包括支援事業・介護予防ケアプラン作成
■勤務場所	上毛町地域包括支援センター
■募集人員	若干名
■応募資格	介護支援専門員有資格者で実務経験のある方
■採用期間	4月１日から１年間（１年毎の更新制）
■勤務形態	9:00～16:00 週休２日制（土・日・祝日）
■給　与	月額170,000円以上（経験年数考慮）
■その他	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険適用有り
■応募方法	履歴書を健康福祉課に持参（資格証の写しを添付）
■応募受付	１月10日～18日
■選考方法	書類審査と面接による。（後日面接日を連絡します。）

新成人のみなさんおめでとうございます！

20歳から国民年金

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やケガで障害が残ったときや、一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないことがありますので、「あの時に…」と後悔する前に、国民年金に加入しましょう。

加入の手続きは、住民課、大平支所のほか、年金事務所にお尋ねください。（20歳前に就職して厚生年金などに加入中の方は、加入手続きは不要です。）

なお、学生の方や、収入が少なく保険料の納付が困難な方の場合は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など、保険料の支払いを猶予する制度がありますので、加入手続きと併せて申請してください。

●問い合わせ先　住民課　住民福祉係　TEL 72-3111（内線143）

新年のご挨拶

町長
鶴田忠良

新年明けましておめでとうございます。

平成二十四年の新春を健やかに迎えられました上毛町の皆様に謹んでお慶びを申しあげます。

昨年は、東日本大震災をはじめ、災害、事件事故の多かった中で、上毛町は、平穏だった自然に恵まれ、華やかさはないにしても着実に発展を成し得た一年であったと確信いたします。

町議会議員をはじめ、町民皆様のご協力とご努力に衷心より感謝を申しあげる次第であります。

さて、世界の誰もが毎年願う平和と豊かさは昨年も期待に反し、政治は、「アラブの春」と呼ばれる中近東諸国に政権の崩壊と動乱、難民は行き場を失って増加し、大国も内に不安を抱えてはそれに応えられず、COP17の「京都議定書」の協議結果が象徴するように秩序は望むべくもないと悲観のみが先立つ一年でありました。

経済も又世界を震撼させたユーロの金融不安は今もなお回復せず、いわゆる1930年の世界大恐慌と同じ過ちを招きかねないと危惧されます。

世界の中で自国のみが生き残る可能性は有り得ないと思う次第でありますが、各国の自省と協働が望まれます。

我が国でありますが、東日本大震災が最大の出来事であり、未曾有の被害をもたらした災害でありました。改めて亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りするとともに苦難を強いられておられる被災者のため一日も早い復旧復興と原発の収束を願う次第であります。

さて、政権が交替して二年余、政府与党の政権運営は、処理能力に欠けるという評価があります。年末に生じた米国議会の国防予算の否決は、単に普天間の問題に止まらず、日米関係はTPPを含め困難な問題が度合いを増しました。

増税問題に目を移しますと、公約の国会議員定数や国家公務員数の削減、無駄を省いて財源確保等は果たせず、消費税については、加速する少子高齢化社会を考えれば国民には理解してもらえるとして、負担を求めるとする政権の方針は、順序が違うと反論せざるを得ません。「円高、デフレ」を解決して日本経済を元気にし、景気の回復を待って国民に負担を求めるべきだとする見解が正論に思えます。

「日本沈没」という映画がありましたが、政治経済外交にわたって建て直しを図り、国民が安心して住める国造りのため、国政に携わる全ての人が知恵を出し、汗をかく時でありましょう。又そう願う次第であります。

本町でありますが、合併して六年目に入った昨年は端的に言って、広報四月号でお示しした施策や各課所管の事業は順調に成果を出し、財政も又健全かつ効率的に運用が可能であったと確信いたします。

主要な成果をご説明申しあげます。

一：環境の町として、独自色を発揮した太陽光発電利用者や合併浄化槽設置者への支援事業は年内に予算消化を終え、利用者の積極的な活用に深く感謝する次第であります。

二：懸案の診療所等の敬愛会への譲渡後につきましては、上毛クリニックの努力により安全安心な医療運営が行われ、たいへい苑とともに評価の高い施設となりました。関係各位に深く敬意を表します。

三：八億円をかけて改築した築上東中学校体育館は、四月から使用を始め、近隣にない体育館として高い評価を受け、生徒の部活動等に十分な役割を果たし、敬老会も実施され高齢者が初めて一堂に会し長寿を祝いました。

四：友枝保育所跡地は、四区画の住宅造成を行う事とし、用地購入の公募には複数の方が関心を持たれ意を強くいたしました。

五：築上東高校跡地につきましては、これも宅地化を決定し、五〇戸の建築可能な基本設計を策定中であります。公園機能を持ち、安全安心かつ利便性の高い住宅ゾーンを造成したいと考え完成後の公募に期待するところであります。

六：下唐原に自動車関連の高村工業株式会社が進出することになりました。四月から操業開始とされ、雇用の期待される新しい企業が又一つ誕生する事となりました。一年の最も明るいニュースであります。

七：財政でありますが、年度末には起債（借金）残高は七十一億九〇〇〇万円となり、前年より約九億円の償還（返済）が可能となりました。又基金（積立金）残高は現在六十五億八〇〇〇万円で、二億七〇〇〇万円の積立増加となり、健全財政が一層高まる事となりました。

しかしながら只一つ懸念される実態があります。人口の減少とともに過疎化の進行が顕在化した事であります。

平成十七年合併当時の人口は八，四九九人、去る十一月末では八，〇四九人となり、五年間で四五〇人の減少となりました。死亡増、出生減、転出微増が要因でありますが、今後の対応が最重要課題となりました。

さて、本年でありますが、先般各課のヒアリングを実施し、平成二十四年度の予算編成から新年度の取り組みを検討する事となります。新年度は昨年の課題であります人口減と過疎化対策を最重点施策として解決のため諸事業を計画立案して参る所存であります。詳細は例年通り広報四月号に掲載いたしますのでお待ちいただきたいと存じますが、基本的には、雇用と定住を目指す産業の振興、町民の健康維持と医療費（県内上位）の削減を重点施策の柱とし、少子高齢化や住環境整備等に配慮した事業の展開を図り、本町繁栄のため努力いたしたいと存じます。本年も変わらぬご支援ご協力の程よろしくお願い申しあげます。

結びに、この一年の皆様のご健勝ご多幸を衷心よりお祈り申しあげまして新年のご挨拶といたします。